【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【公開番号】特開2019-151847(P2019-151847A)
【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)
【年通号数】公開・登録公報2019-037
【出願番号】特願2019-74597(P2019-74597)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　2/44　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/04　ＣＥＹ
Ｃ０８Ｆ　2/44　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和1年11月18日(2019.11.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ａ）第１基材を準備し、該第１基材の表面にプライマーを適用すること；
ｂ）前記第１基材に、二重活性化ビニル化合物を含み、該二重活性化ビニル化合物がシアノアクリレートでない重合性組成物を含むラミネート用接着剤を塗布すること、ならびに
ｃ）第２基材を前記第１基材に、前記ラミネート用接着剤の硬化によって接着させること
を含む、ラミネート材の作製方法。
【請求項２】
前記二重活性化ビニル化合物が、メチレンマロネート、メチレンβ－ケトエステル、メチレンβ－ジケトンからなる群から選択される少なくとも１つの構成員を含む、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。
【請求項３】
前記重合性組成物が、多官能性のモノマー又はオリゴマーを含む、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。
【請求項４】
前記多官能性モノマーまたはオリゴマーが、構造：－Ｗ－Ｃ（Ｏ）－Ｃ（＝ＣＨ$_2$）－Ｃ（Ｏ）－Ｗ－（式中、Ｗは－Ｏ－または直接結合を表す。）で表される少なくとも２種類の単位を含む、請求項３に記載のラミネート材の作製方法。
【請求項５】
さらに、重合活性剤を前記第１または第２基材に適用する工程を含む、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。
【請求項６】
第１および第２基材が、同じ材料のものであっても異なる材料のものであってもよく、独立して：植物系材料、プラスチック、カーボン系材料、金属およびガラス系材料からなる群より選択される、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。
【請求項７】

第１および第２基材が、同じ材料のものであっても異なる材料のものであってもよく、独立して、紙、オーク材、ダグラスファー、バルサ材、ポリフェニレンエーテル（ＰＰＥ）プラスチック、ポリカーボネート（ＰＣ）、シリコン、ガラス、繊維ガラス、銀被覆銅、銅、スチール、ポリプロピレン、二軸延伸ポリプロピレン、一軸延伸ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ポリエチレンテレフタレート、二軸延伸ポリエチレンテレフタレートおよびアルミニウムからなる群より選択される、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。

【請求項８】

さらに、塩基、塩基前駆体、塩基創出体または塩基向上体の形態の重合活性剤を重合性組成物中または一方の基材上に準備する工程を含む、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。

【請求項９】

前記重合活性剤が、有機材料、無機材料もしくは有機金属材料またはこの組合せから選択される、請求項８に記載のラミネート材の作製方法。

【請求項１０】

前記重合活性剤が、酢酸ナトリウム；酢酸カリウム；ナトリウム、カリウム、リチウム、銅およびコバルトの酸の塩；テトラブチルアンモニウムフルオリド、クロリドおよびヒドロキシド；第１級、第２級または第３級のいずれかのアミン；アミド；ポリマー結合型酸の塩；安息香酸塩；２，４－ペンタン二酸塩；ソルビン酸塩；プロピオン酸塩；第２級脂肪族アミン；ピペリデン、ピペラジン、Ｎ－メチルピペラジン、ジブチルアミン、モルホリン、ジエチルアミン、ピリジン、トリエチルアミン、トリプロピルアミン、トリエチレンジアミン、Ｎ，Ｎ－ジメチルピペラジン、ブチルアミン、ペンチルアミン、ヘキシルアミン、ヘプチルアミン、ノニルアミン、デシルアミン；アミンと有機モノカルボン酸との塩；ピペリジンアセテート；低級モノカルボン酸の金属塩；酢酸銅（ＩＩ）、酢酸第二銅一水和物、酢酸カリウム、酢酸亜鉛、クロロ酢酸亜鉛、クロロ酢酸マグネシウム、酢酸マグネシウム；酸含有ポリマーの塩；ポリアクリル酸コポリマーの塩から選択される少なくとも１つの構成員である、請求項９に記載のラミネート材の作製方法。

【請求項１１】

さらに配合添加剤を準備する工程を含む、請求項１に記載のラミネート材の作製方法。

【請求項１２】

前記配合添加剤が、可塑剤、チキソトロープ剤、接着促進剤、酸化防止剤、光安定剤、ＵＶ安定剤、充填材、界面活性剤、湿潤剤、粘度調整剤、体質顔料、分散剤、アンチブロッキング剤、消泡剤、脱気剤、垂れ落ち防止剤、凝結防止薬剤、つや消し剤、平滑化剤、ワックス、傷防止添加剤、スクラッチ防止添加剤、不活性樹脂から選択される少なくとも１つの構成員である、請求項１１に記載のラミネート材の作製方法。

【請求項１３】

請求項１から１２のいずれかに記載の方法によって作製されるラミネート製造物品。

【請求項１４】

ａ）二重活性化ビニル化合物を含み、該二重活性化ビニル化合物がシアノアクリレートでない重合性組成物を準備すること；

ｂ）強化または充填材料を該重合性組成物中に加えること；および

ｃ）該重合性組成物中に担持させた、または該強化材料上に担持させた重合活性剤を準備すること；ならびに

ｄ）該重合性組成物と該強化材料を成型すること

を含む、複合材物品の作製方法。

【請求項１５】

前記重合性組成物が、少なくとも２％の多官能性モノマーまたはオリゴマーを含む、請求項３または４に記載の方法。